

常総水害から10年 ～水害の記憶を未来へ～

行動宣言

常総水害から10年を節目に、私たちは、常総水害による災害の記憶を風化させることなく後世に語り継ぎ、「水防災意識社会の再構築」及び「流域治水」の取組みを浸透・推進していくため、そして川の恵みを享受しながら、これからも安心して暮らしていける社会を築くために、次のとおり宣言します。

1. 大規模水害に対する「逃げ遅れゼロ」を目指し、防災教育を通じた人材育成を継続し、誰もが水災害リスクを「自分事」として捉え、自らの避難行動につながる取組みを推進していきます。
2. 災害から人命を守るためには自助・公助と共に、地域住民が協力して助け合う共助も重要であることから、地域コミュニティを維持・発展させ、より一層の地域防災力の向上に努めていきます。
3. 国・県・市町は、更なる連携強化のもとに防災体制や防災機能等の向上を図り、住民の命を守るための的確な避難情報発信や支援等に取り組んでいきます。
4. 近年の激甚化・頻発化する水害に対して、行政や企業・住民等、流域全体のあらゆる関係者が協働して水害を軽減させる治水対策「流域治水」を推進していきます。
5. 自然環境の保全や地域を活かした魅力ある水辺空間の創出、賑わいあるまちづくりなど、鬼怒川の豊かな水と緑の空間を次世代へ残していきます。

2025年（令和7年）9月28日

常総水害から10年実行委員会

実行委員長 常 総 市 長 神達 岳志



実行委員 茨 城 県 知 事 大井川 和彦



実行委員 結 城 市 長 小林 栄



実行委員 下 妻 市 長 菊池 博



実行委員 守 谷 市 長 松丸 修久



実行委員 筑 西 市 長 設楽 詠美子



実行委員 つくばみらい市長 小田川 浩



実行委員 八 千 代 町 長 野村 勇



実行委員 下館河川事務所長 青木 孝夫

